

ロシアと秋田県を中心とする日本海側諸港の海上交通調査

(ロシア極東連邦大学研究員の招へい及び秋田県商業貿易課との共同調査)

- 日本海側諸港とロシアとの海上交通に関わる諸問題の調査を日ロ双方の視点から実施するため極東連邦大学・アジア太平洋センターのトゥルビン研究員を招へいし、秋田県商業貿易課の全面的な協力を得て、両地域での現地調査を行った。
対象港は秋田県の能代、船川、秋田の3港を始めとして酒田、新潟、伏木富山、境港、浜田の8港を訪れ、港湾管理者並びに行政府の関係者より各港の現状と課題の聞き取りを実施した。
- 調査結果を元にアジア地域研究連携機構研究紀要第4号（3月末発行予定）にトゥルビン研究員は「日本海をまたぐ露日港湾間の協力の現状と将来の展望の検討ーロシア側の視点から」、日本側は「日本海側諸港にとってロシアとの海上交通発展の意義と課題ー日本側の観点から」を主題とする論文を寄稿した。